

2023年経済構造実態調査（製造業事業所調査）結果の概要（広島県）

1 概況

2023年経済構造実態調査（製造業事業所調査）によると、
 広島県の製造品出荷額等は、10兆6923億円で全国10位（前年10位）
 広島県の付加価値額は、3兆553億円で全国12位（前年11位）
 ○広島県の産業中分類別で製造品出荷額等が最も多いのは、輸送用機器で3兆5257億円（構成比33.0%）
 ○広島県の産業中分類別で付加価値額が最も多いのは、輸送用機器で8670億円（構成比28.4%）

表1 主要項目の状況(全事業所)

項目	広島県					全国	
	実数	前年から の増減数	前年比 (%)	全国シェア(%) (前年)	全国順位 (前年)	実数	前年比 (%)
事業所数(所)	5,900	7	0.1	2.6 (2.6)	13 (13)	223,391	0.3
従業者数(人)	214,241	1,285	0.6	2.8 (2.8)	11 (11)	7,751,935	0.5
製造品出荷額等(億円)	106,923	7,483	7.5	3.0 (3.0)	10 (10)	3,618,774	9.6
付加価値額(億円)	30,553	△466	△1.5	2.8 (2.9)	12 (11)	1,082,838	1.5

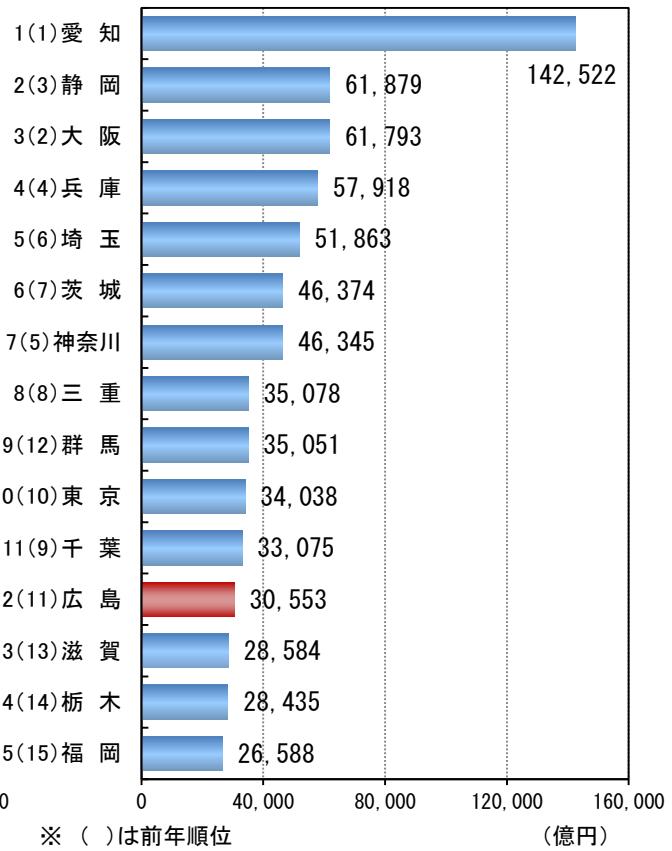
※前年の比較は経済構造実態調査（製造事業所調査）のデータによる。ただし、経済センサスの調査年の翌年は、経済センサスのデータによる。

図1 製造品出荷額等：上位15都道府県



※ ()は前年順位

図2 付加価値額：上位15都道府県



※ ()は前年順位

[資料] 経済産業省『2023年経済構造実態調査「地域別統計表」』
 (令和6年7月26日公表・令和7年8月29日一部訂正)により作成

2 産業別の状況

(1) 事業所数 ~上位3業種は金属製品、生産用機器、輸送用機器~

事業所数は、5,900事業所となり、全国13位。

産業中分類別で事業所数が最も多いのは、金属製品（822事業所、構成比13.9%）で、次いで生産用機器（717事業所、構成比12.2%）、輸送用機器（649事業所、構成比11.0%）の順となった。

上位3業種は、前年と同じ順位で、全体の約4割（37.1%）を占めている（図3）。

(2) 従業者数 ~上位3業種は輸送用機器、食料品、生産用機器~

従業者数は、21万4241人となり、全国11位。

産業中分類別で従業者数が最も多いのは、輸送用機器で4万9783人（構成比23.2%）、次いで食料品2万6984人（構成比12.6%）、生産用機器2万3363人（構成比10.9%）の順となった。上位3業種は、前年と同じ順位で、全体の約5割（46.7%）を占めている（図3）。

(3) 製造品出荷額等 ~上位3業種は輸送用機器、鉄鋼、生産用機器~

製造品出荷額等は、10兆6923億円となり、全国10位。

産業中分類別で製造品出荷額等が最も多いのは、輸送用機器で3兆5257億円（構成比33.0%）、次いで鉄鋼1兆5472億円（構成比14.5%）、生産用機器9819億円（構成比9.2%）の順となった。

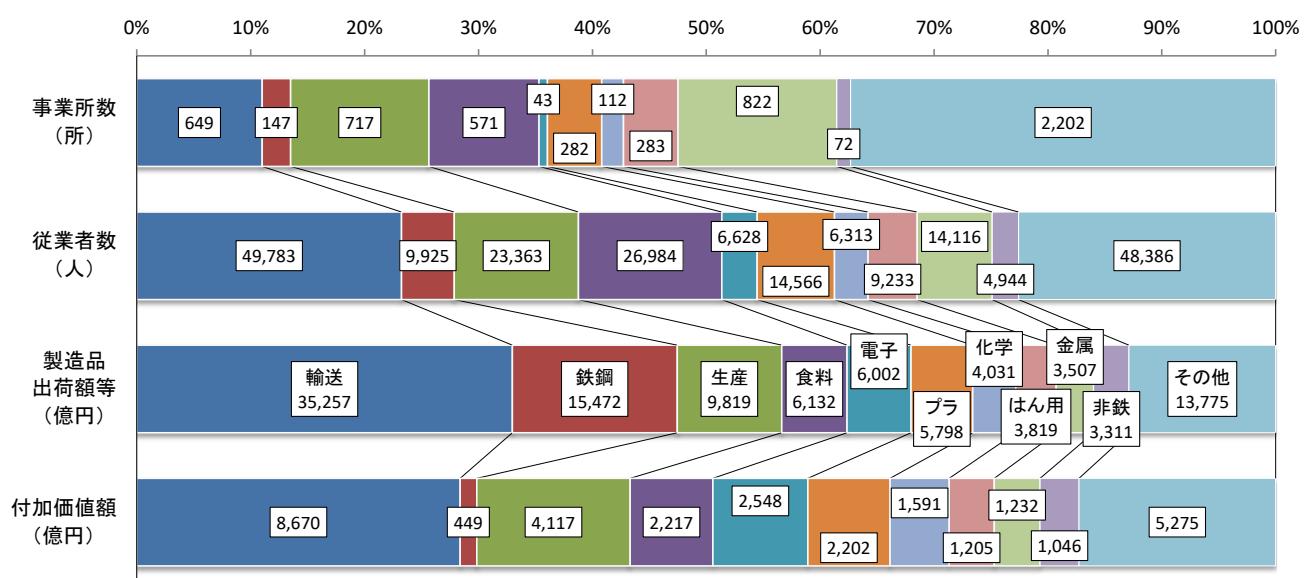
上位3業種は、前年と同じ順位で、全体の5割以上（56.6%）を占めている（図3）。

(4) 付加価値額 ~上位3業種は輸送用機器、生産用機器、電子部品~

付加価値額は、3兆553億円となり、全国12位。

産業中分類別で付加価値額が最も多いのは、輸送用機器で8670億円（構成比28.4%）、次いで生産用機器4117億円（構成比13.5%）、電子部品2548億円（構成比8.3%）の順となった。上位3業種は、前年と同じ順位で、全体の5割以上（50.2%）を占めている（図3）。

図3 広島県の主要産業の構成（製造品出荷額等の上位10業種・全事業所）



[資料] 経済産業省『2023年経済構造実態調査「地域別統計表」』
(令和6年7月26日公表・令和7年8月29日一部訂正)により作成